

2020年度 全国「和食」連絡会議 議事録

文責 事務局 武田

日時 : 2020年(令和2年)9月25日(金) 14:00~15:20

場所 : Zoom Webinarによるオンライン開催

学校法人服部学園服部栄養専門学校より発信

出席者 : 部会参加者89名(服部議長、山本副議長、上野幹事、窪幹事、瀬川幹事、そが幹事、平出幹事、溝上幹事、田島専務理事、武田常務理事を含む)

講演参加者93名(同上)

1. 開会 :

- ・14:00 司会の上野幹事により開会が宣せられた。今回は全国「和食」連絡会議(以下 連絡会議)登録に限らず和食文化国民会議(以下 和食会議)全会員に案内した旨の報告、および本日のプログラムの説明があった。

2. 役員紹介 :

- ・山本副議長より、連絡会議の役員の紹介がなされた。副議長 山本真砂美、民輪めぐみ。幹事 上野正人、窪雅寿美、瀬川雄貴、そが真由美、平出淑恵、溝上宏。

3. 2019年度事業報告及び2020年度事業計画説明 :

- ・山本副議長より、連絡会議の目的、活動の概要の報告がなされた後、各担当役員よりそれぞれのテーマについて説明がなされた。

- ① 上野幹事より、「Facebook等コミュニケーション力の強化」について2019年度報告および2020年度の活動計画の説明がなされた。その中で、地域特派員の紹介、Facebook連絡会議グループへの投稿状況が報告され、会員に対しFB連絡会議グループへの積極的な投稿参加を要請した。
- ② 上野幹事より、「1204和食セッション」について2019年度第5回交流会の報告があり、2020年度第6回交流会は12月4日に秋葉原の富士ソフトアキバプラザにおいて、新型コロナウイルス感染への対応を考慮した内容で、開催する旨の報告がなされた。
- ③ そが幹事より、地域交流会の目的、および2019年9月9日(重陽の節供)に開催した、徳島県佐那河内村との交流について報告がなされた。続いて、瀬川幹事より、本年度は新型コロナウイルス感染拡大により実施が困難であるため、2021年度実施に向け、候補先の探索、調査、折衝を行っている旨の説明があった。
- ④ 溝上幹事より、「和食ヤングアンバサダー」について現状の報告があり、加入者が伸び悩んでおり、今後の方針について検討中であることが報告された。
- ⑤ 上野幹事より、「五節供」に関し、2021年3月3日上巳の節供をテーマに、SNS写真投稿キャンペーンを計画している旨の報告がなされた。

- ⑥ 最後に、山本副議長より、本年度の事業スケジュールおよび予算の説明がなされ、事業報告・事業計画説明を終了した。

4. 講演：「今、そしてこれから私たちにできること」

- ・ 14：25、服部幸應氏（連絡会議議長 学校法人服部学園理事長）より、「今、そしてこれから私たちにできること」と題する講演が行われた。
- ・ 食育基本法の基本的な考え方、および世界的な関心を集めているSDGsとの関係性が、わかりやすく説明され、レイチェル・カーソンの「沈黙の春」におけるDDT汚染を例に、環境問題、食の安全性について話があった。更に、現在作成中の第4次食育推進基本計画における、日本の「食」の位置付け、食育推進の方針に言及された。五節供や雑節など日本の風土に根差した伝統行事とその食文化の話があり、最後に、新型コロナウイルス感染により、不自由な状況にあるが、食を通じた家族のふれあい、人々のふれあいの重要性が述べられた。

5. 閉会：

- ・ 上野幹事より、参加者に対し、全国「和食」連絡会議への登録、地域交流会対象の紹介、幹事の募集、およびアンケートの依頼、並びに12月4日和食セッションへの参加の要請が述べられ、15：20分に無事閉会した。

6. 追記：アンケート集計について

- ・ 参加者にアンケートを実施、22件の提出があった。
- ・ 事業報告、講演の内容については好評であった。
- ・ オンライン開催については好評であったが、双方向性の向上等の意見があった。

以上